

成長ホルモン (GH) 測定キットに関して

測定キットにより GH 測定値に差が出るのが、再び明らかになりました。それに対処するため、成長科学協会としては以前と同じように補正式を用いて診断したいと考えています。

新しい補正式もほぼできており最終確認中ですが、成長ホルモン分泌不全性低身長症の診断に関しては、厚生労働省間脳下垂体機能障害に関する調査研究班の「診断の手引き」が公的基準になっています。従って、補正式に関しても来年 1 月に開催される研究班における検討後に公表する予定です。

実際に補正式を用いて診断するには、診断・治療する先生方へ十分に周知する必要があります。成長科学協会だけでなく、関連学会や小児慢性特定疾患の委員会などとも歩調を合わせて、一定の猶予期間をおいてから実施したいと考えています。

平成 24 年 12 月 7 日

(公財) 成長科学協会 理事長 田中敏章
GH・関連因子検討専門委員長 島津 章